

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

まねしにくい戦略や製品を構築する 柳川 範之 (東京大学大学院教授)

1. グローバル化していく世界経済の中で、これら「日本出身」の企業がどのように強みを発揮していくべきか。これは、日本経済を活性化させ、人々の生活を豊かにするためにも、避けて通れない大きな課題である。海外に進出したとしても、いきなり外国企業になれるわけではない。グローバルな競争を生き抜くためには、むしろ日本的な特徴を生かした戦略や開発が求められるのだ。
2. それでは、日本的な特徴、そこからくる日本企業の強みとは何だろうか。この点を考えるうえで、重要なキーワードが「まねしにくいものは何か」である。ある一時期に優位性を発揮できたとしても、その技術などが簡単にまねできるものであれば、ライバルがすぐに育ってしまい優位性が失われてしまう。したがって、これからの市場競争を考えていく際には、いかにまねしにくい戦略や製品を構築し、持続的に他社との差別化を図っていくかが大きなポイントになる。
3. そこで重要となってくるのが、「文化」である。日本の文化は他国には簡単にはまねできない。だからこそ、文化なのである。グローバルに戦う必要があるからこそ、日本の文化に立脚した戦略や開発が一層必要となってくる。たとえば、日本に強みがあるといわれている「ものづくり」も、きめ細かな日本の文化的資質と大きく関係している。まねのできない強みにしていくことが、これからの日本出身企業に求められている。
(参考:「週刊東洋経済」2014年10月4日号)

経営者のための理念・哲学

逃げない、嘘を言わない、ニュースをつくらない 新浪 剛史 (サントリーホールディングス社長)

1. ローソンの船出は大変でした。落ち着くまでに3年位かかりました。その時重要だと思ったのは、逃げないこと、嘘を言わないこと、そしてニュースをつくらないことでした。
2. 何があってもトップである自分が判断し、分かっていることは必ずオープンにしました。嘘を言って隠していると、見つかった時にニュースになりますから、それは絶対に避けなければなりません。そして分からないことは分からないと、正直に言わないといけない。そのことでたとえ批判されたとしても、トップのそうした真摯な後ろ姿を社員は誇りに思ってくれる。このリーダーについて行こうと思ってくれたいことを学びました。
(参考:「致知」:2015年1月号)

経営者のための経済学

現状の円安の真意

小玉 祐一 (明治安田生命チーフエコノミスト)

1. 現在の円安は、株価押し上げには寄与したものの、本来、もっとも大きなメリットのはずである輸出の増加という点では成果を上げていない。輸出数量指数は、今年に入ってからの10カ月で5回前月比マイナスとなるなど、一進一退が続いている。
2. 輸出が伸び悩む理由としては、①海外景気の弱さ、②下がりにくい輸出製品価格、③現地生産へのシフト、④電機産業の国際競争力の低下、などの複合的要因が考えられる。足元では持ち直す兆しも見えるものの、米国景気が堅調に推移し、かつ2年間で40円以上の円安が進んだにもかかわらずこの程度であれば、たとえばあと10円円安が進んだところで、それで突然輸出が加速を始めるとは考えにくい。(参考:「エコノミスト」2014年12月23日号)

古典に学ぶ

絶対無窮の存在

(解説) 弟子たちは列子に頼んだ。「いちどお別れしてしまったらこんどいつお会いできるかわかりません。お願いします。わたしたちにあとあとの心得となることばを残して行って下さい」。それでは話そう。「万物の生成変化をつかさどるものは、それ自体、生成し変化することはない。だからこそ、生成変化の根元であり得るのだ。だが万物は、生成変化をその本質とする。したがって、常に生まれ常に変化し寸秒のいとまもなく動きつづける。ただ、みずからは生成せず変化せぬもののみが、絶対無窮の存在なのだ」
(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)